

肝疾患専門医療機関における非専門診療科でのHBs抗原、HCV抗体陽性者についての検討

研究分担者：瀬戸山 博子 熊本労災病院 消化器内科

研究要旨：肝炎ウイルス陽性者の受診・受療の促進における問題点の一つとして、肝炎ウイルス陽性者のうち非肝臓専門医に受診した患者が、そのまま専門医療機関、拠点病院へ紹介されず経過観察されている事例が多いことが挙げられる。本研究では肝疾患専門医療機関である当院で肝臓非専門医が施行した肝炎ウイルス検査陽性者の実態を明らかにした。調査の結果、院内専門医へ紹介されていない陽性者のうち精査を必要とする症例を高率に認めた。また電子カルテを用いた陽性者についての注意喚起は専門医紹介率の向上に有用であった。

A. 研究目的

肝炎ウイルス陽性者の受診・受療の促進における問題点の一つとして、肝炎ウイルス陽性者のうち非肝臓専門医に受診した患者が、そのまま専門医療機関、拠点病院へ紹介されず経過観察されている事例が多いことが挙げられる。平成23年度肝炎検査受検状況実態把握事業報告書（厚生労働省）によると肝炎ウイルス検査の受検機会として、内視鏡検査・術前検査が48.7%と大半を占めている。一方で、非専門科医師の認識不足、院内連携の欠如のために、肝炎検査陽性者が適切な治療に結びついていない現状（国立病院機構肝疾患ネットワークでのアンケート調査結果）が指摘されている。その理由として、肝炎ウイルスに対する認識度の低さ・主病名の治療優先・年齢によるパフォーマンスステータス低下・かかりつけ医を受診中等が考えられているが、その実態は明らかではない。本研究では肝疾患専門医療機関である当院で肝臓非専門医が施行した肝炎ウイルス検査陽性者の実態を明らかにした。

B. 研究方法

当院において2015年から2019年に消化器内科以外の診療科でHBs抗原 or/and HCV

抗体検査（スクリーニング検査）を受けた外来あるいは入院患者のべ1293名を対象に、診療科、スクリーニング検査陽性者数、陽性であることの認識、陽性者の院内専門医への紹介率、治療の有無、非紹介理由などを解析した。また当院では2018年よりスクリーニング検査陽性者について電子カルテ上での注意喚起が行われており、注意喚起前後での紹介率を比較した。

C. 研究結果

非専門医における肝炎ウイルススクリーニング検査実施診療科は外科系が57.8%であった。HBs抗原陽性者（HBV）は37.7%、HCV抗体陽性者（HCV）は74.2%といずれも高率であり、陽性者のうちそのことを認識していなかった症例は約8割（HBV 81.4%、HCV 75.5%）を占めた。HBV-DNAあるいはHCV-RNAの陽性率は受検者全体の10.9%（HBV-DNA 4.7%、HCV-RNA 7.3%）であった。またスクリーニング検査陽性者の院内専門医への紹介率はHBV 22.6%、HCV 13.9%であり、紹介された陽性者のうち36.9%（HBV 45%、HCV 29.3%）の患者が抗ウイルス療法を受けていた。未紹介者のうち、「専門医へ通院していない」かつ「ウイルス量が未測定あるいはウイルスが検出された」症

例は HBV78.2%、HCV71.6%であり、全体で7割以上の症例において専門医受診が必要と考えられるにもかかわらず紹介されていなかった。紹介されない理由としては「原疾患の治療を優先」が最も多かった。電子カルテでの注意喚起前後での紹介率は開始前が13.0% (HBV 17.3%、HCV 10.8%)、開始後が24.0% (HBV 31%、HCV 19.7%)と有意に増加していた。

D. 考察

院内専門医へ紹介されていない陽性者のうち精査を必要とする症例を高率に認めた。電子カルテを用いた陽性者についての注意喚起は専門医紹介率の向上に有用であった。

E. 結論

未発見、未治療患者の早期拾い上げにおいて肝臓非専門医で診断された肝炎ウイルス陽性を確実に専門医へ繋げる取り組みが肝疾患専門医療機関においても重要であると考えられた。

F. 政策提言および実務活動

<政策提言>

なし

<研究活動に関連した実務活動>

上記研究班活動に加えて、国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター 客員研究員、厚労省肝炎対策推進室、全国肝疾患診療連携拠点病院と連携し、肝炎に関する総合的な施策の推進活動に携わっている。更に熊本県肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患センター顧問として、県肝炎ウイルス対策部署と連携し、肝炎撲滅対策に取り組んでいる。

G. 研究発表

1. 発表論文

○瀬戸山博子、考藤達哉 効率的な拾い上げと診療のためのわが国の制度 消化器・肝臓内科, 8(4) 1-9. 2020.

2. 学会発表

○瀬戸山博子、田中基彦、佐々木裕 「未治療C型肝炎患者への対策」 第106回日本消化器病学会総会 一般演題 2020年8月

○瀬戸山博子、田中基彦、佐々木裕 「肝疾患診療連携拠点病院による肝炎ウイルス陽性者受診勧奨システムを中心とした潜在的肝炎ウイルス陽性者への対策」 第56回日本肝臓学会総会パネルディスカッション6 2020年8月

○ Hiroko Setoyama , Noriko Oza , Jun Itakura , Masayuki Kurosaki , Tetsuro Shimakami , Masaaki Korenaga , Junko Tanaka and Tatsuya Kanto NATIONWIDE SURVEY OF THE QUALITY OF CLINICAL PRACTICE AND MEDICAL CARE FOR LIVER DISEASE PATIENTS USING PERFORMANCE INDICATORS FOR HEPATITIS PRACTICE AND CARE. AASLD Liver Meeting, Poster session 2020年11月

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし